



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月8日
東

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	217,753	△2.5	8,319	18.9	8,964	19.1	4,941	9.4
2019年3月期	223,246	△1.0	6,997	△8.6	7,525	△7.0	4,518	3.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	173.01	-	3.5	4.0	3.8
2019年3月期	157.65	-	3.3	3.4	3.1

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	221,037	142,324	64.4	4,982.87
2019年3月期	222,501	138,540	62.3	4,850.37

(参考) 自己資本 2020年3月期 142,324百万円 2019年3月期 138,540百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	11,885	△5,415	△5,368	21,297
2019年3月期	7,115	△3,607	△7,537	20,196

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	19.00	-	19.00	38.00	1,085	24.1	0.8
2020年3月期	-	19.00	-	20.00	39.00	1,113	22.5	0.8
21年3月期(予想)	-	20.00	-	20.00	40.00			

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	116,000	0.3	5,400	0.4	5,700	0.9	3,300	0.6	115.53
通期	218,000	0.1	8,400	1.0	9,000	0.4	5,000	1.2	175.05

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	29,784,400 株	2019年3月期	29,784,400 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,221,670 株	2019年3月期	1,221,594 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	28,562,781 株	2019年3月期	28,664,581 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 次期の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本等変動計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	16
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	
(1) 商品部門別販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調にあったものの、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題など、海外経済情勢の不安の高まり、また、消費税引き上げによる景気悪化懸念や新型コロナウイルス感染症の拡大懸念から、先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、業種・業態を超えた競争の激化や高齢化・人口減少によるマーケットの縮小、物流や建築資材をはじめとした各種コストの上昇および採用難による人手不足などにより、また、豪雨や記録的な猛暑といった天候不順の影響もあり、依然として厳しい経営環境になっております。

当社といたしましては、従来からの経営理念である「お客様満足度 100%」を目指して、従業員教育による販売力の向上や、お客様のニーズにあった商品政策の強化に努めてまいりました。また、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」の品揃えの強化を図り他社との差別化に取り組んでまいりました。

経営基盤の充実のため店舗展開と既存店の強化に取り組み、1店舗の新規出店及び7店舗の増床と1店舗の改装を行いました。同時に既存店の見直しも行い9店舗を閉鎖いたしました。これにより、当事業年度末での店舗数は鹿児島県から宮城県までの34府県にわたり358店舗となりました。

この結果、売上高2,177億53百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益83億19百万円（前年同期比18.9%増）、経常利益89億64百万円（前年同期比19.1%増）、当期純利益は49億41百万円（前年同期比9.4%増）となり減収増益となりました。

セグメント業績のうち報告セグメントについては、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的、天候不順に影響を受けやすい商品であります。当事業年度は、売上高は932億23百万円（前年同期比0.3%増）、売上総利益325億2百万円（前年同期比2.0%増）、売上総利益率は34.9%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当事業年度は、売上高は597億58百万円（前年同期比5.3%減）、売上総利益162億67百万円（前年同期比0.7%減）、売上総利益率は27.2%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当事業年度は、売上高は445億28百万円（前年同期比3.7%減）、売上総利益171億8百万円（前年同期比3.2%減）、売上総利益率は38.4%となっております。

商品部門別の売上状況は、次のとおりであります。

区分	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比 (%)
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
資材・DIY・園芸用品	92,969	41.6	93,223	42.8	100.3
生活用品	63,103	28.3	59,758	27.4	94.7
家具・ホームファッション用品	46,252	20.7	44,528	20.4	96.3
その他	20,920	9.4	20,243	9.4	96.8
合計	223,246	100.0	217,753	100.0	97.5

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、857億38百万円（前事業年度末比1億57百万円増）となりました。増加の主な要因は、売掛金の減少（前事業年度末比3億59百万円減）、商品の減少（前事業年度末比5億50百万円減）などがあつたものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比11億1百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、1,352億98百万円（前事業年度末比16億21百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比20億42百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、649億39百万円（前事業年度末比43億93百万円減）となりました。減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比17億48百万円減）、短期借入金の減少（前事業年度末比15億60百万円減）、支払手形の減少（前事業年度末比13億8百万円減）などによるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、137億73百万円（前事業年度末比8億54百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比11億21百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、1,423億24百万円（前事業年度末比37億84百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比38億56百万円増）などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、212億97百万円と前年同期比11億1百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、118億85百万円（前年同期比で47億70百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前当期純利益76億39百万円及び減価償却費59億25百万円などに対し、仕入債務の減少額23億71百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、54億15百万円（前年同期比で18億8百万円の支出増）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出51億43百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、53億68百万円（前年同期比で21億68百万円の支出増）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出20億21百万円、短期借入金の減少額15億60百万円、リース債務の返済による支出12億2百万円、配当金の支払額10億84百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	57.8	59.8	61.2	62.3	64.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.7	23.9	24.2	20.4	12.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.1	2.2	2.6	4.2	2.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	84.8	89.1	82.5	47.3	83.9

(注) 1. 各指標の計算式は以下のとおりであります。

自己資本比率	: 自己資本/総資産
時価ベースの自己資本比率	: 株式時価総額/総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	: 有利子負債/営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	: 営業キャッシュ・フロー/利払い

2. 各指標はいずれも財務数値により算出しております。
3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行株式数（自己株式控除後）により算出しております。
4. 有利子負債は、貸借対照表上に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
5. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 次期の見通し

今後の経済環境は、景気悪化の懸念等及び人口減少による市場規模の縮小、少子高齢化による労働力不足、業態を超えた販売競争等もあり、家具・ホームセンター業界を取り巻く環境はさらに厳しさを増していくものと予想されます。

このような環境下、当社といたしましては、「店はお客様のためにある」という認識のもと、商品開発に、作業システムの改善に、お客様に目が向いた接客サービスの向上にと全力を注いでまいります。具体的には、経営基盤の強化のために、店舗の新規出店に取り組むと同時に、既存店舗の活性化を図るため増床や改装にも努めていく方針であります。

「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」の商品の3本柱のさらなる強化・充実に取り組んでまいります。同時に値入率の改善の為、当社のオリジナル商品であるPB商品の開発・販売も強化し、一方では作業効率の改善による経費の削減に努め経費率の低減に取り組んでまいります。

以上の状況を勘案し、次期の業績の見通しといたしましては、売上高2,180億円（前年同期比0.1%増）、営業利益84億円（前年同期比1.0%増）、経常利益90億円（前年同期比0.4%増）、当期純利益50億円（前年同期比1.2%増）を予定しております。

新型コロナウイルス感染症が当社の次期の業績に及ぼす影響について現段階では、できる限り合理的な判断の下、業績予想値を算出しておりますが、予測困難な要素も多く、今後必要と判断した場合は、業績予想の修正を速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業展開は現在国内に限定されており、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,088	24,190
売掛金	3,312	2,952
商品	57,619	57,068
貯蔵品	2	7
前払費用	940	905
未収入金	104	101
その他	515	515
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	85,581	85,738
固定資産		
有形固定資産		
建物	123,298	125,493
減価償却累計額	△58,800	△61,473
建物(純額)	64,497	64,019
構築物	22,398	22,759
減価償却累計額	△17,402	△18,079
構築物(純額)	4,996	4,680
車両運搬具	92	5
減価償却累計額	△92	△5
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	9,951	10,331
減価償却累計額	△8,516	△9,037
工具、器具及び備品(純額)	1,435	1,293
土地	48,685	48,580
リース資産	11,649	12,444
減価償却累計額	△8,923	△9,957
リース資産(純額)	2,726	2,487
建設仮勘定	1,003	239
有形固定資産合計	123,344	121,301
無形固定資産		
借地権	2,444	2,481
ソフトウェア	85	137
電話加入権	47	47
リース資産	198	287
その他	139	105
無形固定資産合計	2,915	3,059

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	393	240
関係会社株式	21	21
出資金	0	0
破産更生債権等	1	1
長期前払費用	550	448
繰延税金資産	3,175	3,674
敷金及び保証金	6,470	6,521
建設協力金	52	33
その他	6	7
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	10,660	10,937
固定資産合計	136,920	135,298
資産合計	222,501	221,037
負債の部		
流動負債		
支払手形	16,412	15,104
買掛金	14,081	13,012
短期借入金	22,465	20,905
1年内返済予定の長期借入金	1,896	1,496
リース債務	1,083	996
未払金	4,260	3,904
未払法人税等	1,071	2,237
未払消費税等	205	1,204
予約預り金	1,123	922
預り金	310	338
前受収益	35	44
賞与引当金	1,010	1,003
役員賞与引当金	26	28
ポイント引当金	1,199	1,179
設備関係支払手形	3,861	2,112
資産除去債務	46	119
その他	243	331
流動負債合計	69,333	64,939
固定負債		
長期借入金	2,914	1,793
リース債務	1,726	1,746
退職給付引当金	3,162	3,148
役員退職慰労引当金	975	1,028
資産除去債務	5,405	5,620
その他	442	435
固定負債合計	14,628	13,773
負債合計	83,961	78,713

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金		
資本準備金	4,223	4,223
資本剰余金合計	4,223	4,223
利益剰余金		
利益準備金	37	37
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	627	620
別途積立金	121,000	124,000
繰越利益剰余金	11,332	12,195
利益剰余金合計	132,996	136,853
自己株式	△2,350	△2,350
株主資本合計	138,407	142,263
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132	60
評価・換算差額等合計	132	60
純資産合計	138,540	142,324
負債純資産合計	222,501	221,037

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	223,246	217,753
売上原価		
商品期首たな卸高	56,263	57,619
当期商品仕入高	152,949	145,496
合計	209,212	203,116
商品期末たな卸高	57,619	57,068
売上原価合計	151,592	146,047
売上総利益	71,653	71,705
販売費及び一般管理費	64,655	63,386
営業利益	6,997	8,319
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	9	10
受取賃貸料	356	474
受取事務手数料	56	52
受取手数料	140	177
受取保険金	169	289
その他	209	155
営業外収益合計	944	1,161
営業外費用		
支払利息	148	139
賃貸収入原価	152	184
災害による損失	103	161
その他	11	31
営業外費用合計	416	516
経常利益	7,525	8,964
特別利益		
固定資産売却益	347	20
受取保険金	1,020	-
資産除去債務戻入額	22	-
特別利益合計	1,390	20
特別損失		
固定資産除却損	63	97
減損損失	692	1,170
災害による損失	809	-
役員退職慰労金	290	-
賃貸借契約解約損	217	28
その他	29	49
特別損失合計	2,103	1,345
税引前当期純利益	6,812	7,639
法人税、住民税及び事業税	2,344	3,164
法人税等調整額	△50	△467
法人税等合計	2,293	2,697
当期純利益	4,518	4,941

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	3,538	4,223	4,223	37	630	118,000	10,918	129,586
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の積立					△3		3	-
別途積立金の積立						3,000	△3,000	-
剰余金の配当							△1,108	△1,108
当期純利益							4,518	4,518
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△3	3,000	413	3,410
当期末残高	3,538	4,223	4,223	37	627	121,000	11,332	132,996

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△0	137,347	156	156	137,503
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△1,108			△1,108
当期純利益		4,518			4,518
自己株式の取得	△2,350	△2,350			△2,350
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△23	△23	△23
当期変動額合計	△2,350	1,060	△23	△23	1,036
当期末残高	△2,350	138,407	132	132	138,540

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,538	4,223	4,223	37	627	121,000	11,332	132,996
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の積立					△6		6	-
別途積立金の積立						3,000	△3,000	-
剰余金の配当							△1,085	△1,085
当期純利益							4,941	4,941
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△6	3,000	863	3,856
当期末残高	3,538	4,223	4,223	37	620	124,000	12,195	136,853

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,350	138,407	132	132	138,540
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△1,085			△1,085
当期純利益		4,941			4,941
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△72	△72	△72
当期変動額合計	△0	3,856	△72	△72	3,784
当期末残高	△2,350	142,263	60	60	142,324

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	6,812	7,639
減価償却費	5,896	5,925
減損損失	692	1,170
無形固定資産償却費	148	165
長期前払費用償却額	68	64
有形固定資産除却損	63	97
有形固定資産売却損益(△は益)	△347	△20
その他の特別損益(△は益)	29	77
資産除去債務戻入額	△22	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△578	52
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45	△7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△45	△20
受取利息及び受取配当金	△12	△10
受取保険金	△1,020	-
支払利息	148	139
災害による損失	809	-
売上債権の増減額(△は増加)	△404	159
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,740	500
仕入債務の増減額(△は減少)	△763	△2,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	△226	1,102
その他の資産の増減額(△は増加)	52	86
その他の負債の増減額(△は減少)	213	△462
その他	△4	1
小計	9,719	14,280
利息及び配当金の受取額	10	10
保険金の受取額	1,020	-
利息の支払額	△150	△141
災害損失の支払額	△380	-
法人税等の支払額	△3,103	△2,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,115	11,885

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,236	△5,143
有形固定資産の売却による収入	805	111
無形固定資産の取得による支出	△119	△181
固定資産の除却による支出	△56	△89
資産除去債務の履行による支出	△89	△85
敷金及び保証金の差入による支出	△102	△181
敷金及び保証金の回収による収入	259	101
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△67	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,607	△5,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△165	△1,560
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	△2,724	△2,021
リース債務の返済による支出	△1,189	△1,202
自己株式の取得による支出	△2,350	△0
配当金の支払額	△1,108	△1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,537	△5,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,029	1,101
現金及び現金同等物の期首残高	24,226	20,196
現金及び現金同等物の期末残高	20,196	21,297

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	29,784,400	—	—	29,784,400

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	294	1,221,300	—	1,221,594

(変動事由の概要)

2018年5月11日の取締役会決議による自己株式の取得 1,221,300株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	565	19.00	2018年3月31日	2018年6月29日
2018年11月9日 取締役会	普通株式	542	19.00	2018年9月30日	2018年12月7日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	542	19.00	2019年3月31日	2019年6月28日

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	29,784,400	—	—	29,784,400

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,221,594	76	—	1,221,670

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	542	19.00	2019年3月31日	2019年6月28日
2019年11月8日 取締役会	普通株式	542	19.00	2019年9月30日	2019年12月6日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	571	20.00	2020年3月31日	2020年6月26日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各店舗において主要な商品区分ごとの販売に注力し、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」の3本柱を中心に商品の戦略を立案し店舗運営を展開しております。

したがって、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」を報告セグメントとしており、その内容につきましては、次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	損益計算書計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホームファッション用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	92,969	63,103	46,252	202,326	20,920	223,246	223,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	92,969	63,103	46,252	202,326	20,920	223,246	223,246
セグメント利益	31,873	16,386	17,669	65,929	5,724	71,653	71,653

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	損益計算書計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホームファッション用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	93,223	59,758	44,528	197,510	20,243	217,753	217,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	93,223	59,758	44,528	197,510	20,243	217,753	217,753
セグメント利益	32,502	16,267	17,108	65,878	5,827	71,705	71,705

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

(持分法損益等)

当社は関連会社がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,850.37円	4,982.87円
(算定上の基礎)		
貸借対照表の純資産の部の合計額	138,540百万円	142,324百万円
普通株式に係る純資産額	138,540百万円	142,324百万円
差額の主な内訳	—	—
普通株式の発行済株式数	29,784千株	29,784千株
普通株式の自己株式数	1,221千株	1,221千株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	28,562千株	28,562千株

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	157.65円	173.01円
(算定上の基礎)		
損益計算書上の当期純利益	4,518百万円	4,941百万円
普通株式に係る当期純利益	4,518百万円	4,941百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式の期中平均株式数	28,664千株	28,562千株

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 商品部門別販売の状況

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日) (至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日) (至 2020年3月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	92,969	41.6	93,223	42.8	100.3
生活用品	63,103	28.3	59,758	27.4	94.7
家具・ホームファッション用品	46,252	20.7	44,528	20.4	96.3
その他	20,920	9.4	20,243	9.4	96.8
計	223,246	100.0	217,753	100.0	97.5

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他